Rotary
2025-2026年度
UNITE FOR GOOD
よいことのために手を取りあおう
創立 1963年3月16日

上尾ロータリークラブ

第3086回 例会
2025. 12. 4

週 報 No.2307
発 行 2025年 12月 1日

2025-2026年度
会 長 坂本 忠光
幹 事 大木 崇寛
副会長 齋藤 哲雄
副幹事 奥川 淳一
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 寺脇 貴浩
ビジター
大宮ロータリークラブ
2025～2026度会長 大竹 敦 様
〃 幹事 小坂 良二 様
ゲスト
(公社)埼玉中央青年会議所
2026年度 理事長 子定者
細野 雄太郎 様
2026年度 専務理事子定者
岡村 和樹 様

行事予定

12月18日 年次総会
クリスマス例会
(家族例会)
会場：ステラ・ケ・デル・アンジェロ
(例会会場・時間変更)

12月25日 定款の規定により休会

会長あいさつ

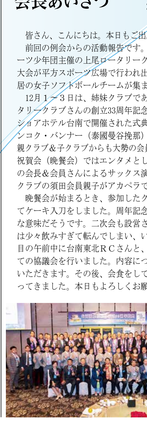
2025-2026年度 坂本 忠光会長

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。

前回の例会からの活動報告です。11月24日（月・祝）、上尾市スポーツ少年団主催の上尾ロータリークラブ杯秋季ソフトボール近隣交流大会が平方スポーツ広場で行われ出席してきました。上尾、川越、寄居の女子ソフトボールチームが集まり熱戦が繰り広げられました。

12月1～3日は、姉妹クラブであるＲＩ第3470地区・台南東北ロータリークラブさんの創立33周年記念式典に参加してきました。レイクショアホテル台南で開催された式典には、ＲＩ第3330地区・タイ国バンコク・バンナー（泰國曼谷挽那）ＲＣさん、台湾・第3470地区の親クラブ&チャプターから大勢の会員・会員家族が参加していました。祝賀会（晩餐会）ではエンタメとして手品、変面、台南東北ＲＣさんの会長&会員さんによるサックス演奏、歌と踊りなどが披露され、当クラブの須田会員親子がアカペラで歌い華を添えました。

晩餐会が始まるとき、参加したクラブの会長が集まりサイフを持ってケーキ入刀をしました。周年記念式典なので誕生日のケーキのような意味だそうです。二次会も例会恒例カラオケで歌ったのですが、私は少々飲みすぎて転んでしまい、いまだ手に湿布をしています。2日目の午前中に台南東北ＲＣさんと、今後の交流や合同事仕事案について協議会を行いました。内容については理事会を経てご報告をさせていただきます。その後、会食をして台北市に移り、観光を楽しんで帰ってきました。本日もふくしてお願いいたします。



Rotary
ROTARY CLUB OF AGEO

幹 事 報 告

大木 崇寛 幹事

◇今月のロータリーレートは1ドル156円です。
◇12月18日（木）、クリスマス例会をステラ・デル・アンジェロで開催します。
◇第3回ＰＨＳ・ＰＰＳ勉強会が12月21日に200Mで開催します。

委員長報告

国際委員会委員 大木 保司 委員長

台南東北ＲＣさんの周年記念式典に行き、式典翌日、今後についての会議をしました。当クラブからは創立65周年記念式典の日、ぜひスケジュールに調整をお願いしたいとお伝えしました。台南東北さんの35周年は未だ正式には決まっていないそうですが2027年12月上旬の月曜日を中心に調整するようとなです。また台南東北さんからは1泊ではなぜひ泊まって、前夜祭を行い、式典前の午前中は観光やゴルフをしていただきたいとのことでした。詳細は理事会を通してからご報告いたします。

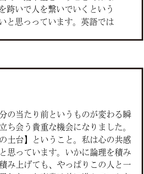
お客様からあいさつ

大宮ロータリークラブ 大竹 敦 会長

親愛なる上尾ＲＣの皆さんこんにちは。本日は当クラブ創立70周年記念式典開催のご連絡とご挨拶に参りました。私ども大宮ＲＣは、本年創立70周年という大きな節目を迎える年にあたります。1955年の創立以来、多くの先輩方の努力と地域の皆様そして上尾ＲＣ様をはじめとするチラブの皆様の温かいご支援の下に歩みを重ねて参りました。この節目を記念し創立70周年記念式典を来年5月16日（土）に開催します。歴史を振り返り、諸先輩方へ感謝するとともに、次代のロータリーを見据える機会にしたいと考えております。上尾ＲＣ様は1963年に当クラブから拡大した経緯がございます。ぜひ皆様にご臨席を賜り、ともにこの節目をお祝いしたいと思っております。どうぞよろしくお願い申上げます。

米山記念奨学金功労者表彰

第10回メジャードナー 小林邦彦会員

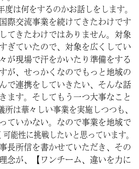


例 会 主 題

One Teamでひとり地域の未来
～国際事業と2026年度の取り組みについて～

公益社団法人 埼玉中央青年会議所
2026年度 理事長子定者 細野雄太郎様

本日のお話のテーマとして挙げさせて頂くのは、「One Teamでひとり地域の未来」です。まず自己紹介をさせて頂きます。1988年3月16日に細野家の長男として生まれました。祖父が起こした会社の3代目になります。祖父と父共に上尾ＪＣのＯＢでもあります。父は上尾ＲＣ、祖父は上尾北ＲＣに入っており、先ほどロータリーソングを聴きながら子供の頃にクリスマス例会や大きなおいしくるみを頂いたのを思い出しました。仕事は、北上尾の西口を中心に、トヨタカローラ、パチンコ店、スーパー、倉庫、保育園、コンビニ、郵便局の所有・管理をしています。私には目標があり、一つは「海外進出」です。決して海外に出て一攫千金をしようとしてはなく、日本と海外、国と銘打つ人を繋いでいくようことをやっていきたいと思っています。英語では



Rotary
ROTARY CLUB OF AGEO

TOEIC 910点を持っていますので、会議での同時通訳や、英語のスピーチもできます。

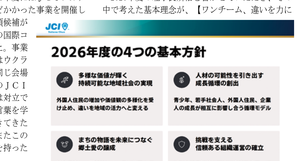
私の人生でターニングポイントが2つあります。1つは2014～16年までオーストラリアに留学した経験です。ここで自分の当たり前が、違う国に行くと当たり前ではないと気づきました。もう1つは東京オリンピックです。私はボランティアリーダーとして組織委員会から依頼を受け、オリンピックのバスケットボール、パラリンピックのブラインドサッカーの担当をしました。バスケットボールでは、選手の一挙手一投足を永遠に記録するというミッションがあり、時計で有名なオメガと一緒に記録をして、公式記録を作りました。パラリンピックでは英語を生かす形で各種接遇を担当し、大蛇鮨、警察、組織委員会と連携して、ＶＩＰの対応をしました。その際、ダイバーシティ＆インクルージョン（多様性、公平性、包括性）、「Know Differences, Show Differences. 違いを知り、違いを示す」というワードが、強く耳に残りました。

さて私たち青年会議所としての国際交流についてお話しします。直近3年間、国際交流を進めてきました。2024年に実施した国際交流事業では、私が委員長でアロハ・ＪＣＩ国際ジュニア事業を立ち上げました。さいたま市・上尾市・伊勢町の高校生と、そこに海外からの高校生を日本に招待するという事業です。韓国、ニュージーランド、フィリピンの3カ国15名の高校生が来てくれて、ホームスティをしながら研修をすごいう事業でした。2025年度には「ＪＣＩアカデミーという総額6000万円ほどかかった事業を開催しました。世界70カ国から会員候補が来て、埼玉県下で過去最大の国際コンベンションが行われました。事業は1987年から始まり、今年はウクライナとロシアの会員候補が同じ会場で勉強をしました。私がこのＪＣＩアカデミーを通じて、違いは対立ではなく可能性があるという言葉を学びました。私が今これで生きてきた留学や、自社業や、そしてまたこのＪＣにふって1つの縁結ぶを得たという経験でした。

我々が2025年度ＪＣＩアカデミーを主勝して、3つの大きな学びがありました。①【多様性が創造性を育む】ということ。自分の当たり前というものが変わる瞬間ということに立ち会う貴重な機会になりました。②【異感が協働の土台】ということ。私はとの共感がキーワードと思っています。いかに論理を積み上げ、データを積み上げても、やっぱりこの人を一緒にやろうと思わないと事業は前に進んでいかないと思っています。言語や文化を超え思いを共有しておくこと、それは未来に生きる我々をとして必要なことなのではないかなと思います。③多様性、そして共感を生か、協働の力、その舞台が必要であるという感覚、【地域でこそ価値を生む】です。地域の中で我々が多様性を力に変える経験をしていくことで、我々だけでなく地域の子どもたち、そして地域の企業に、自分のステージを上げる協働をしっかりとしていくんだということにつながっていくのかなと思っています。

それでは2026年度は何をするのかお話しします。2024・25年度と国際交流事業を続けてきたわけですが、ずっと成功してきたわけではありませんな。対象を高校生に絞りすぎていたので、対象を広くしていきたいとか、我々が現場で汗をかいたり準備をするのはもちろんですが、せっかくなのでもっと地域の方たちを巻き込んで連携をしていきたい、そんな話もさせていただきます。そしてもう一つ大事なことは、我々青年会議所は華やい事業を実施しつつも、それが地域で残っていかない、なので事業を地域で資源になっていく可能性に挑戦したいと思っています。

2026年度の理事長所信を書かせていただき、その中で考えた基本理念が、【ワンチーム、違いを力に



未来を開く】です。今まで経験してきた国際、文化、世代、そしてキャリアの違いを力へと変換して、地域の成長につなげることを理念として掲げる。多様性を受け入れる段階にも見えると思っており、それを地域でどう生かすのか、生かしたりというのに挑戦していきたいと考えています。基本理念のほかに、どのような方針で2026年度を走っていくのか簡略に説明をさせていただきます。①しっかりと多様性を重視した状態で、持続可能な地域社会を作っていきたい。②その時、人材の育成が欠かせない。③街の物語を未来につなぐ郷土愛の醸成、海外からお客さんがこの地域に来るということは、この地域の魅力をしっかり出さなければいけない、地域の魅力のアップデートをしたい。④青年会議所としての組織運営もしっかりしていこう、この4本柱で2026年度はいきたいと考えています。

最後に地域の団体さんへのお願い、どんな協働ができるのかというお話しをさせていただきます。来年も国際交流事業に取り組みます。実務は当然我々が担います。今後のプレゼンをまず聞いていただき、まず応援したい気持ちを持っていただければと思います。次にもう一歩踏み込んだ形で、ホストファミリーを募集しているらしいよ、子どもたちの参加を募集しているらしいよ、ここに行ってごらん、そんな紹介をいただいたりとか動います。さらにもう一歩踏み込めるなら、事業への協賛や寄付という、金銭面のご支援をいただけると大変ありがたいです。地域の中でどのように我々が貢献をしていくか、この地域で活動する団体としてしっかりと成果を届けていくという事業を一緒にできたらと思っています。次年度事業ロータリークラブ様の発展/地域への貢献ということがあれば揃った時こそ、真の協働という形が生まれると思います。事業趣旨が固まったら改めてお伝えしますので、ご協力できるところ、もし興味がありましたら、よろしくお願いいたします。

JCIで
方針3：まちの物語を未来につなぐ
郷土愛の醸成
地域の伝統・歴史を次世代の言葉で再編し、アイデンティティを強化
地域の文化・歴史を次世代の言葉で再編し、地域のアイデンティティを強化
地域の伝統